

一般社団法人 鳴門板野青年会議所
2021年度 防災力向上委員会

副理事長 縄田 浩明

委員長 岩佐 陽介

現 状 分 析	<p>自然災害はいつどのような規模で発生するかわかりません。地震については、南海トラフ地震が今後30年以内に70%～80%の確率で発生するといわれています。地震の規模もM8～M9クラスで太平洋沿岸の広域に10mを超える津波が想定されており、大規模な被害が予想されています。また、近年多発している集中豪雨や台風によって、浸水被害や土砂崩れが全国的に多発しており、鳴門板野地区でも防災力の向上が必要です。</p>
設 置 目 的	<p>鳴門板野地区での自然災害などによる被害の軽減を目指すとともに、行政や関係団体と協定を結び、防災の知識をまちへ発信し防災力の向上を促すことを当委員会の設置目的とします。また、他団体と連携して防災や災害対策に取り組んでいることをPRすることでJCのPRや知名度の向上に繋がり、今後JCがより地域に密着することでJC活動がしやすい環境作りに繋がります。</p>
連 携 概 要	<p>■防災力を向上させる例会の実施</p> <p>防災力の向上には防災知識の向上が必要です。防災知識向上のために、休校となった島田小学校の体育館を使用し、小学生を対象とした避難体験ができるキャンプ事業を行い、未来を担う子供たちに災害に対する意識を高めてもらうことで、鳴門板野地区の防災力の向上に繋げていきます。また、2020年度から始めたネットワーク会議を引き続き行い、鳴門市と鳴門市社会福祉協議会との間で、連携を取り3者間協定を締結することで、今後の防災や災害対策でよりレベルの高い活動が行えます。</p> <p>■防災知識をまちへ発信する事業の実施</p> <p>鳴門市で9月1日の防災の日に行われる防災イベントにおいてJCブースで出展する中で、参加してくれた人が楽しく防災を学べるワークショップを開催し、参加者の防災意識を高めることで、その防災意識がまちへ波及する事を目指します。また、イベントに合わせて鳴門市と鳴門市社会福祉協議会との3者間協定の調印式を行うことで、災害に対する3者間の繋がりを強固にするとともに、JCのPRや知名度の向上に繋げることを目指します。</p>
S D G s	3、4、11、13、17
パ ー ト ナ ー	鳴門市、鳴門市社会福祉協議会、自主防災組織